

《最近の県内経済》 (2026年1月を中心として)

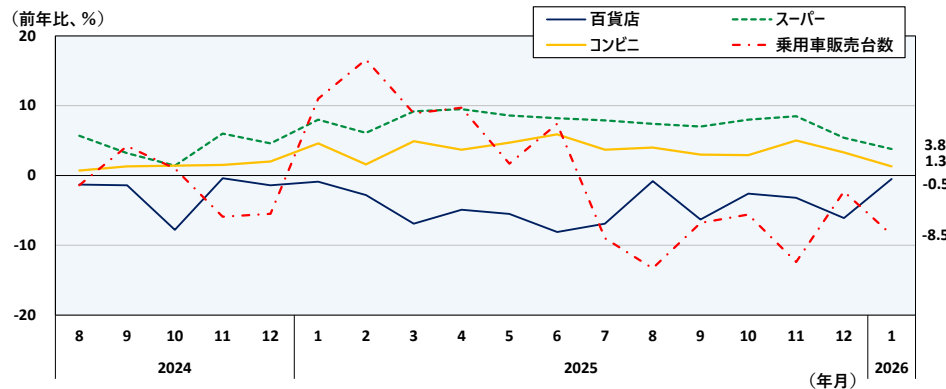
今月の概要

中東情勢の影響から先行きは不透明ながら、
足許は緩やかに回復している



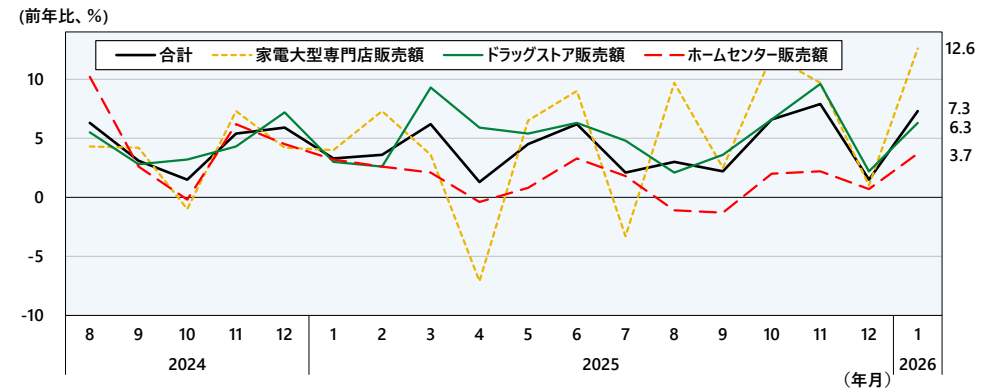
1 個人消費 ~緩やかに持ち直している ⇨

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

1月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は121億円で前年比0.5%減(19か月連続の減少)、スーパーは1,161億円で同3.8%増加(40か月連続の増加)した。また、コンビニ販売は575億円で同1.3%増加(21か月連続の増加)した。食料品を中心に節約志向が続いているが、価格の上昇により販売額は増加している。

また、乗用車販売は、前年比8.5%減と7か月連続で減少した。内訳をみると、普通車が同9.3%減(7か月連続の減少)、小型車が同9.0%減(2か月ぶりの減少)、軽自動車と同7.2%減(3か月連続の減少)となった。新型車の不足や納車待ちの影響がみられた。

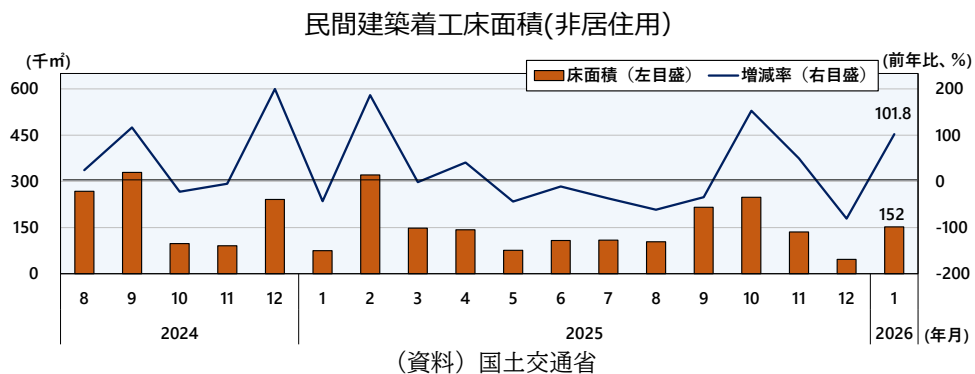
1月の専門量販店販売額は847億円で前年比7.3%増と40か月連続で増加した。内訳をみると、家電大型専門店が218億円で同12.6%増(6か月連続の増加)、ドラッグストアが453億円で同6.3%増(44か月連続の増加)、ホームセンターが176億円で同3.7%増(4か月連続の増加)といずれも増加した。

家電大型専門店では、エアコンを中心とした季節家電、パソコン需要の継続が売上げをけん引した。

ホームセンターでは暖房・防寒用品が売上げに寄与した。

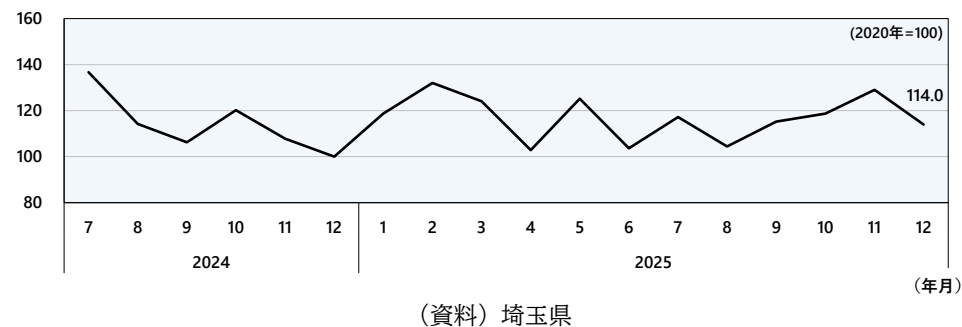
関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、12月<37.4>、1月<37.7>、2月<39.8>と推移している。

2 設備投資 ~増加基調にある ➡



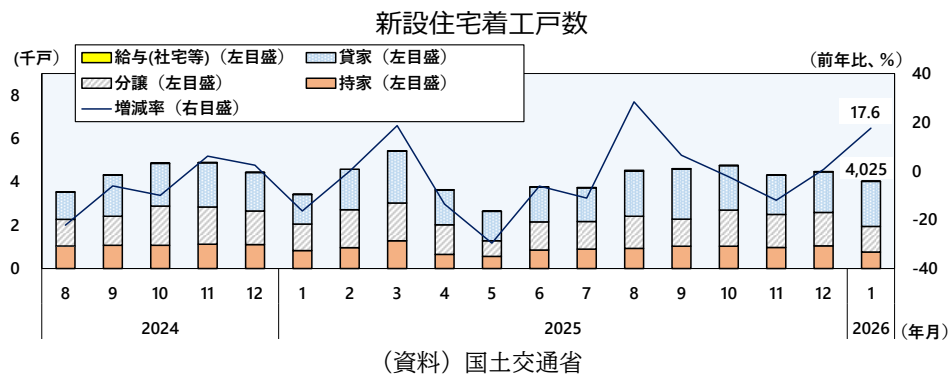
1月の民間建築着工床面積(非居住用)は、152千㎡で前年比101.8%増加した(5か月後方移動平均では、前年比4.3%減少)。用途別にみると、事務所、学校の校舎は減少したものの、店舗、工場及び作業場、倉庫、病院・診療所は増加した。

資本財出荷指数(季節調整済)



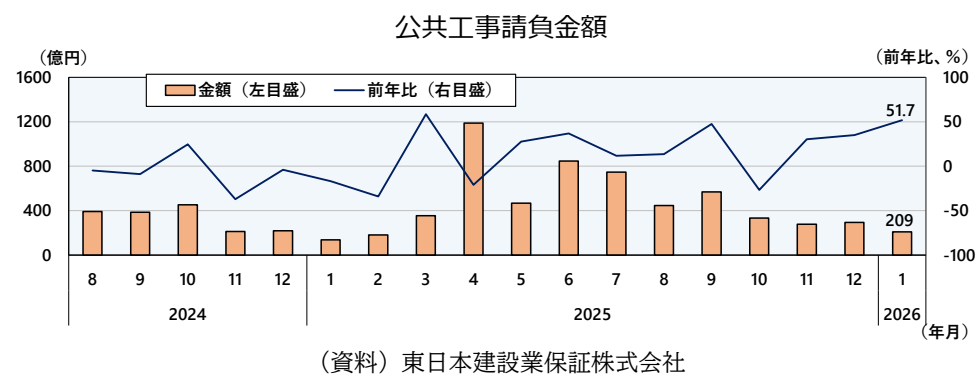
12月の資本財出荷指数(季節調整済)は114.0で、前月比11.6%減少した(5か月後方移動平均では、116.3で、前年比6.0%増加)。

3 住宅建設 ~弱含んでいる ➡



1月の新設住宅着工戸数は、4,025戸で前年比17.6%増加した(5か月後方移動平均でも、4,431戸、前年比1.0%増)。利用関係別にみると、持家(758戸)が同8.7%減、分譲一戸建て(846戸)が同10.5%減となったものの、貸家(2,079戸)が同51.4%増、分譲マンション(316戸)が同26.9%増となった。

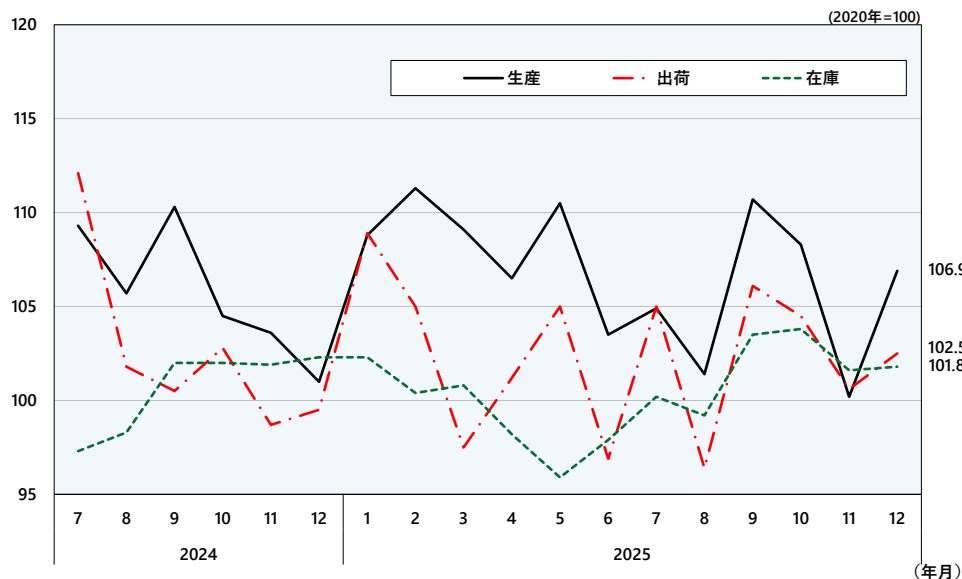
4 公共工事 ~底堅く推移している ➡



1月の公共工事請負額は209億円、前年比51.7%増加した。5か月後方移動平均でも、337億円、前年比19.5%増で推移。発注者別の前年比をみると、国は減少したものの、独立行政法人等、都道府県、市区町村、地方公社は増加した。

5 生産活動～底堅く推移している →

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



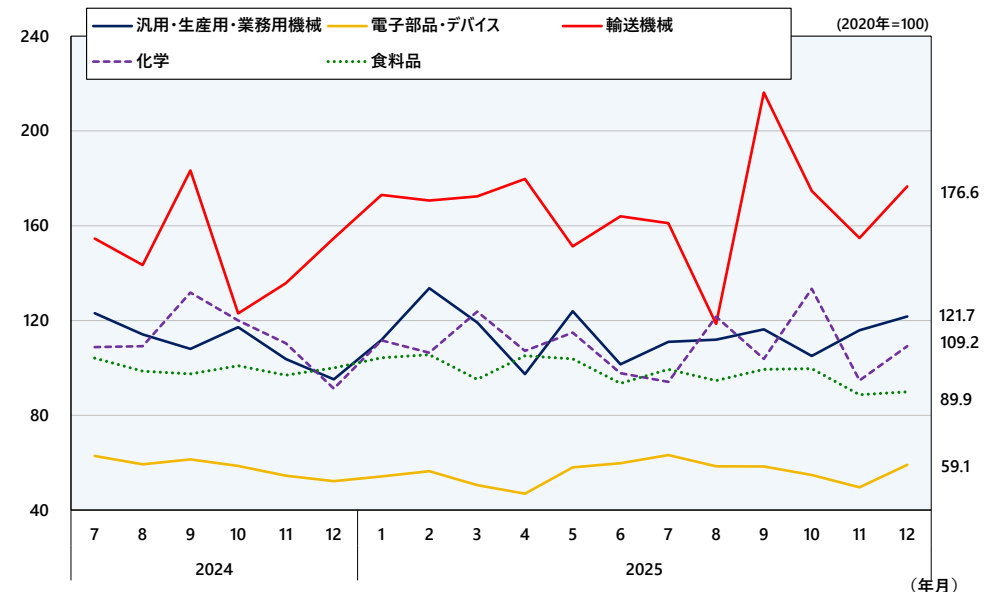
(資料) 埼玉県

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、106.9で前月比6.7%上昇(3か月ぶりの上昇)した。生産用機械(半導体製造装置、食料品加工機械)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが低下したが、化学(医薬品、化粧品)、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)などが上昇した。

出荷指数(同)は、102.5で同1.9%上昇(3か月ぶりの上昇)した。生産用機械(半導体製造装置、マシニングセンタ)、情報通信機械(ガス警報器、交換機)などが低下したが、汎用機械(空気圧機器、コンベヤ)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが上昇した。

在庫指数(同)は、101.8で同0.2%上昇(2か月ぶりの上昇)した。電気機械(電気計器、クッキングヒーター)、化学(印刷インキ、合成樹脂塗料)などが低下したが、情報通信機械(ガス警報器、金銭登録機(端末機能付))、生産用機械(整地機械、マシニングセンタ)などが上昇した。

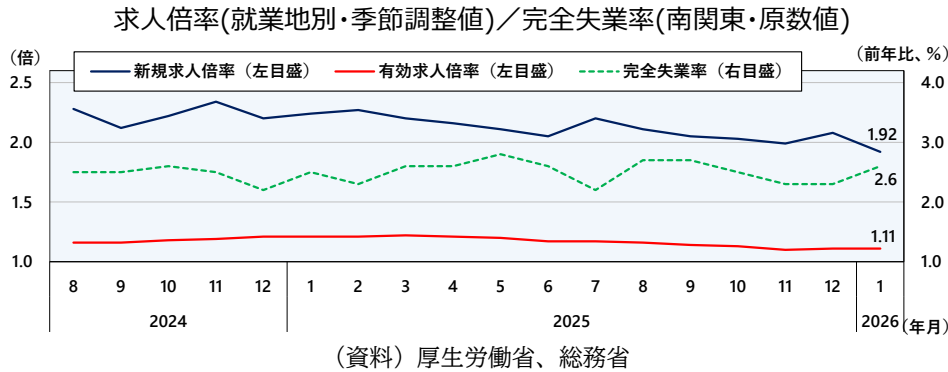
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

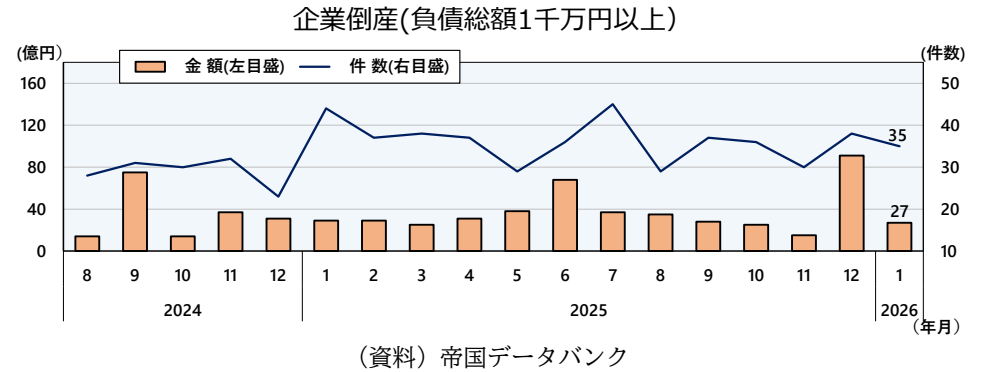
- ・汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、121.7で前月比5.0%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ・電子部品・デバイス(同)は、59.1で同19.2%上昇し、5か月ぶりの上昇となった。
- ・輸送機械(同)は、176.6で同14.1%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ・化学(同)は、109.2で同15.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ・食料品(同)は、89.9で同1.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している ➡



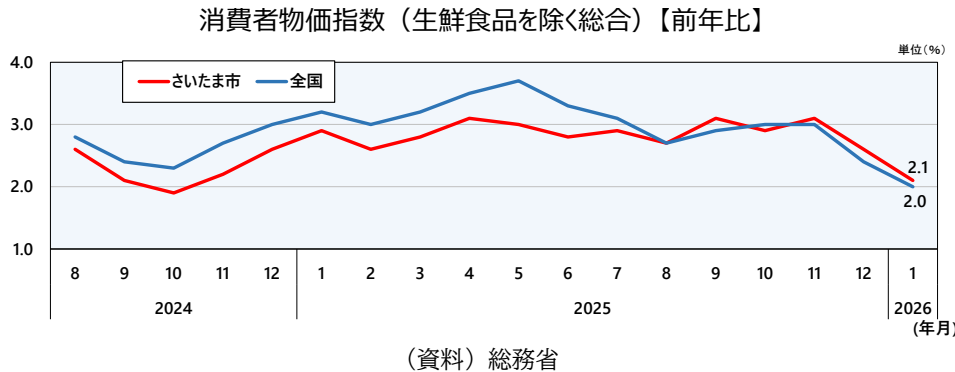
1月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.11倍で前月比横ばいとなった。新規求人倍率(同)は、1.92倍で同比0.16ポイント下降した。
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月比0.1ポイント上昇した(前年同月比2か月連続の上昇)。

7 企業倒産 ~緩やかな増加基調にある ➡



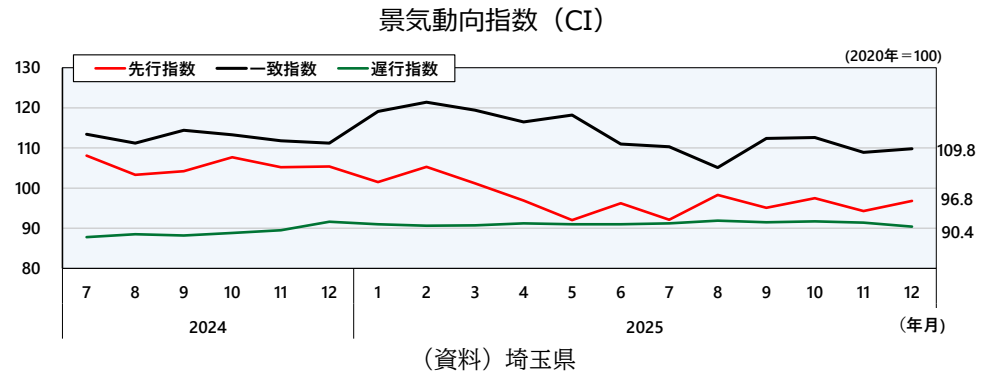
1月の企業倒産件数は35件で前年同月比9件減少した。また、負債総額は27億円
で同比2億円減少した(5か月移動平均では、件数は前年比3件増加、負債総額は
同横ばい)。
業種別みると、建設業と卸売業が最多で8件、次いで小売業7件となっている。
主因別では、販売不振が32件となっている。

8 消費者物価 ~緩やかに上昇している ➡



1月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、110.8で前年同月比2.1%上
昇した(52か月連続の前年同月比上昇)。
食料(穀類(うるち米など)、飲料)、住居(家賃(持家の帰属家賃など))
などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ~下方への局面変化を示している



- ・12月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、109.8で前月比0.9ポイント上昇し、2か月
ぶりの上昇となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、96.8で同2.5ポイント上昇し、2か月ぶりの
上昇となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、90.4で同1.0ポイント下降し、2か月連続の
下降となった。